

4 保健事業について

- 【1】 令和7年度の保健事業について・・・P1
- 【2】 第3期データヘルス計画の進捗状況・・・P2～3
- 【3】 一体的な実施事業における主な取組及び実施市町数・・・P4
- 【4】 令和8年度の保健事業について・・・P5～6

【1】令和7年度の保健事業について

令和7年度の保健事業は、第3期データヘルス計画の個別の保健事業に基づき実施。

- ・ホームページ更新

バイオシミラー、適性受診・適正服薬、セルフメディケーション等の項目を追加し、見やすく更新。

- ・「歯科健康診査」の対象年齢に78.79歳を追加

令和7年度対象者：75～80歳

- ・保健師による県内全市町訪問

全市町訪問し、ヒアリングを実施。一体的実施の実施状況等を聞き取り。

- ・管理栄養士の意見交換会を実施【新規】

令和8年2月10日（火）開催

【2】第3期データヘルス計画の進捗状況 (国の定める総合的な評価項目)

目標	国の評価項目		R4 実績 (計画策定時)		R5 実績		R6 実績		R7 (計画目標値)
健診受診率向上による健康状態不明者の減少 疾病の重症化予防 フレイルの予防	アウトプット	健康診査受診率	41.0%		42.3%		43.2%		(42.0%)
		歯科健診実施市町割合	100%		100%		100%		(100%)
		質問票を活用したハイリスク者把握に基づく保健事業を実施している割合	12市町 (41.4%)		12市町 (41.4%)		12市町 (41.4%)		(100%)
一体的実施の推進 実施市町数の増加	アウトプット	以下の保健事業(ハイリスクアプローチ)の実施市町村数・割合	市町数	割合	市町数	割合	市町数	割合	(目標値)
		低栄養	6	20.7%	10	34.5%	16	55.2%	40.0%
		口腔	2	6.9%	7	24.1%	12	41.4%	25.0%
		服薬 (重複・多剤)	0	0.0%	3	10.3%	4	13.8%	20.0%
		重症化予防 (糖尿病性腎症)	10	34.5%	17	58.6%	17	58.6%	85.0%
		重症化予防 (その他身体的フレイルを含む)	4	13.8%	8	27.6%	11	37.9%	30.0%
		健康状態不明者	6	20.7%	16	55.2%	21	72.4%	60.0%

目標	国の評価項目	R4 実績 (計画策定時)	R5 実績	R6 実績	R7 (計画目標値)	
一体的実施の推進 ハイリスク者割合の減少	低栄養	1.55%	1.56%	1.77%	1.50%	
	口腔	6.22%	5.85%	5.99%	5.90%	
	服薬 (多剤)	3.25%	3.24%	3.43%	3.20%	
	服薬 (睡眠薬)	3.06%	2.96%	3.06%	3.00%	
	身体的フレイル (ロコモ含む)	8.21%	8.27%	8.87%	8.10%	
	重症化予防	(コントロール不良者)	0.93%	1.02%	1.01%	0.90%
		(糖尿病等治療中断者)	6.49%	4.91%	6.50%	6.30%
		(基礎疾患保有+フレイル)	9.49%	9.43%	10.12%	9.20%
		(腎機能不良未受診者)	0.03%	0.02%	0.03%	0.03%
	健康状態不明者	1.40%	1.39%	1.34%	1.30%	
平均自立期間 (要介護2以上)	男	80.4	80.4	80.4	80.5	
	女	84.3	84.3	84.3	84.4	
ジェネリック医薬品の使用割合の増加	ジェネリック医薬品の使用割合	80.2%	81.5%	86.8%	80.0%以上	

【3】 一体的な実施事業における主な取組及び実施市町数

事業企画

KDB（国保データベースシステム）を活用した分析
 医療専門職によって健康・医療・介護情報による地域の健康課題の把握を行い、庁内外の関係者間で健康課題の共有や既存の関連事業との調整、地域の医療関係団体等の連携を進め、事業全体の企画調整・分析を行う。

高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ） R5：n=26市町 R6・R7：n=29市町

取組区分	実施市町（率）			取組区分	実施市町数（率）		
	（R5）	（R6）	（R7見込）		（R5）	（R6）	（R7見込）
低栄養にかかわる相談・指導	10 (38.5%)	16 (55.2%)	14 (48.3%)	生活習慣病等重症化予防にかかわる相談・指導	8 (30.8)	9 (31.0%)	13 (44.8%)
口腔にかかわる相談・指導	6 (23.1%)	12 (41.4%)	12 (41.4%)		身体的フレイル含むにかかわる相談・指導		
重複・頻回受診者、重複・多剤投薬者への相談・指導	3 (11.5%)	4 (13.8%)	7 (24.1%)	健康状態不明者への対応	16 (61.5%)	21 (72.4%)	24 (82.8%)
糖尿病性腎症重症化予防にかかわる相談・指導	17 (65.4%)	17 (58.6%)	24 (82.8%)				

国が示した令和7年度取組区分別目標

糖尿病性腎症重症化予防にかかわる相談・指導

重複・頻回受診者、重複・多剤投薬者への相談・指導

低栄養・口腔・身体的フレイル・生活習慣病等重症化予防・健康状態不明者への指導

実施率 100%

実施率 50～70%（市町数15～21以上）

通いの場等への積極的関与（ポピュレーションアプローチ） R5：n=26市町 R6・R7：n=29市町

取組区分	実施市町数		
	（R5）	（R6）	（R7見込）
フレイル予防等の普及啓発活動や運動・栄養・口腔等のフレイル予防などの健康教育・健康相談の実施	26	29	29
後期高齢者の質問票を活用するなど、フレイル状態にある高齢者等を把握し、低栄養や筋力低下等の状態に応じた保健指導や生活機能向上に向けた支援の実施	15	18	22
高齢者の健康に関する相談や不安等について気軽に相談が行える環境づくり	5	10	12

【4】令和8年度の保健事業について

《関連事業》

健康診査事業（医科・歯科）

《第3期データヘルス計画》R6年度～R11年度
(R8年度 中間評価)

健診受診率向上事業（医科・歯科）
【新規】重点的健診受診率向上事業

健診異常値放置者受診勧奨事業
※前年度の生活習慣病異常値者

生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

糖尿病性腎症重症化予防事業

フレイル予防事業
〈低栄養・口腔・身体的フレイル〉

多剤等服薬改善事業

ジェネリック医薬品差額通知事業

（市町への委託・補助）

高齢者の保健事業と介護予防の
一体的な実施事業

ハイリスクアプローチ

- ・低栄養防止・重症化予防
- ・適正な受診、服薬
- ・健康状態不明者の状態把握 等

ポピュレーションアプローチ

高齢者の通いの場
(サロン、商店街等高齢者の生活拠点)

- ・健康教育、相談
- ・高齢者の状態に応じた保健指導
- ・相談しやすい環境づくり 等

補助金事業

訪問歯科健診

（事業支援）

【独自】事業推進交付金

【独自】アドバイザー事業
【新規】管理栄養士研修会

(1) **【新規】** 重点的健診受診率向上事業

(目的) これまでの受診勧奨事業に加えて、健診受診率等から選定した3市町（津市・亀山市・南伊勢町）に対して、対象者の行動特性に応じて、重点的に受診勧奨を実施することで、健診受診率を向上させ、医療費適正化を図る。

(2) **【継続】** 補助金事業

訪問歯科健診・・・鈴鹿市、名張市、亀山市

(3) **【新規】** 地域を担当する医療専門職者（管理栄養士）研修会

(目的) 本年度実施予定の、管理栄養士の意見交換会に引き続き研修会を開催し、地域で暮らす高齢者の低栄養指導の技術向上を図る。